

気象庁一元化データ (050320-050403, M_l≥0)

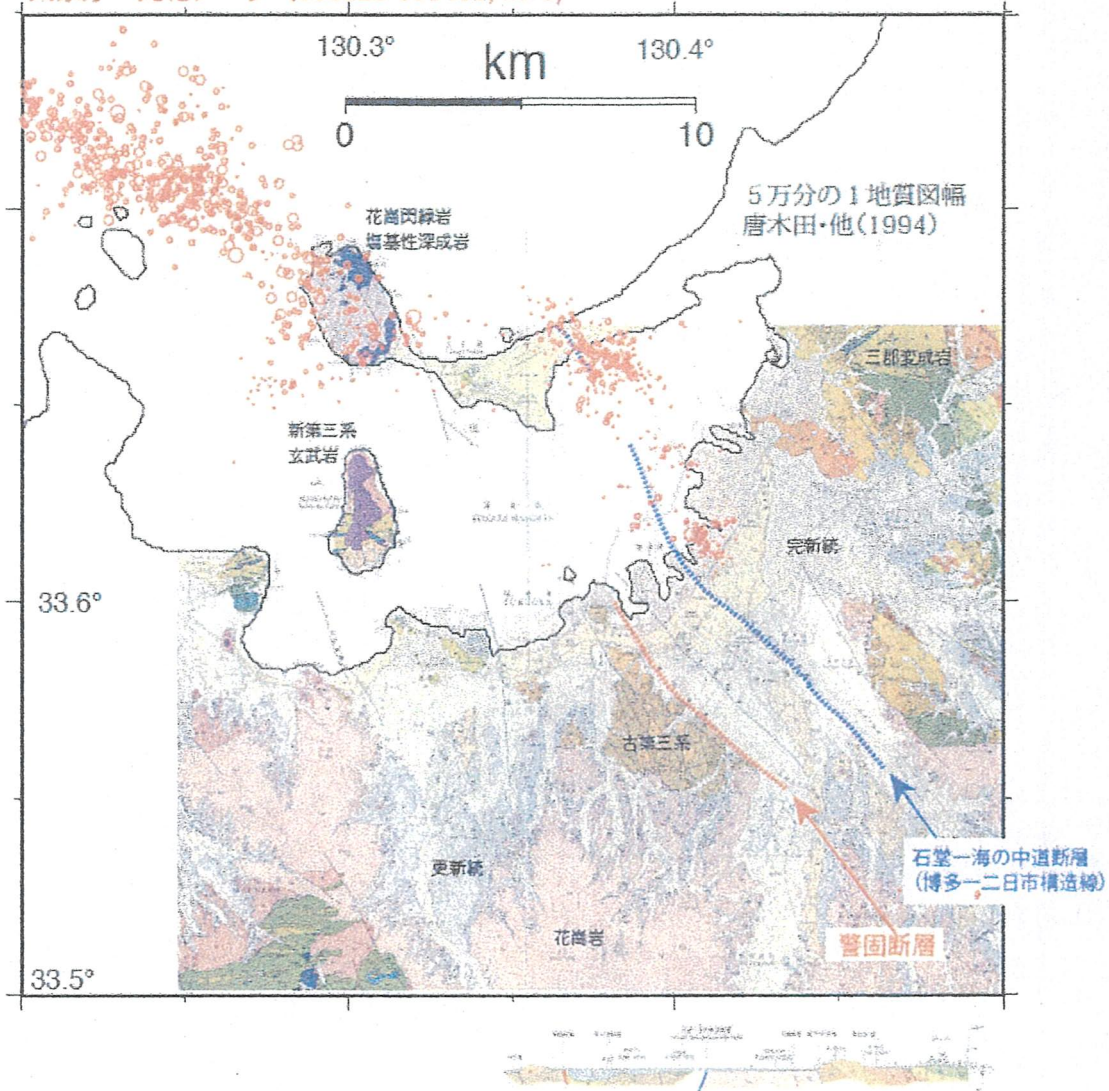


Fig. 3 オフフォルト余震と地質構造との関係. 震源断層の南島, 海の中道から博多湾直下にかけて微小な余震が多発している. 地質図と重ね合わせると, これらの余震は石堂一海の中道断層 (博多一二日市構造線, 5万分の1福岡地質図幅, 唐木田ほか) とほぼ一致する. 静的応力変化により同断層が影響を受けていると考えられる. 石堂一海の中道断層が活断層かどうか不明であるが, 構造地質学的には警固断層よりも重要な断層である. 警固断層から石堂一海の中道断層一带は北西南東にのびる地溝を形成している. また, 警固断層とは2.5kmしか離れておらず, 地下でつながっている可能性もある. なお, 博多湾内の断層の走向は若干時計回りにふれており震源断層から警固断層まで圧縮性二重屈曲 (restraining double bend) の構造を示している. 今回の破壊停止の理由かもしれない.

(産総研活断層研究センター 遠田晋次)